



平成19年5月2日

国土交通省 道路局長 様

江田島市長 曾根 薫



中期的な計画の作成にあたっての意見について

国土交通省道路局長様におかれましては、日頃より本市まちづくりの骨格となる道路整備の推進にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成19年4月2日付国道企114号でご依頼のありましたこのことにつきまして、つぎのとおり提出させていただきます。

地方分権、地方の自立の流れのなか、基礎的自治体の基盤強化は不可欠であり、その中でも道路は重要な役割を果たすものですが、地方都市においては、その整備状況は十分とは言えません。

こうした地方の事情をご理解いただき、これからも、道路整備を推進していただくとともに、計画の策定にあたっては、個々の地域課題に十分ご配慮いただくようお願いいたします。

(提出)

- 中期的な計画の作成にあたっての意見
- 参考資料(1, 2)

中期的な計画の作成にあたっての意見

江 田 島 市

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

(1) 地域の自立、地域間の競争力強化に資する道路の整備

地域の自立を図るためには、産業振興、広域交流、定住促進、地域連携など多様な視点での「地域の活性化」施策の推進が不可欠であり、特に「本土へは2つの渡海橋を經由」「中央部に湾を抱き、四方は海に囲まれる」という他の都市には見られない地理的、地形的条件を有する本市では、これらを克服するための基盤整備が極めて重要です。

「中期的な計画」では、こうした地域ごとの独自課題へのきめ細かい対応が求められるところであり、本市においては、広域道路、渡海橋、港湾アクセス道路、市内拠点周遊道路などの整備が必要です。

【本市での課題】

○地理的条件の克服「本土へは2つの渡海橋を經由」

◆広島市などの都市部や広域交通施設（広島空港）との時間距離の短縮（参考資料1）
東広島呉自動車道、一般国道487号 第2音戸大橋、広島呉道路の利用促進など

○地形的条件の克服「中央部に湾を抱き、四方は海に囲まれる」

◆港湾とのアクセス強化、地域間の連携促進、観光周遊性の向上（参考資料2）

一般国道487号 小用バイパス、（仮）津久茂大橋、県道高田沖美江田島線など

(2) 安全・安心の確保に資する道路の整備

本市では、少子高齢化に伴う「中学校の統廃合による、自転車通学圏域の拡大」「高齢者の社会参加の機会増大」などの情勢変化を迎えており、あわせて、子育て環境の充実など、定住促進の観点からも、これまで以上に子供、高齢者の交通環境における安全性の確保が求められております。

また、災害時、緊急時における、一人暮らしの高齢者の避難や生活水の確保など、生活環境の安全・安心の確保のためには、災害に強いまちづくりを進める必要があります。

【本市での課題】

○高齢者や子供の通学などにおける安全性の確保・・・自転車・歩行者の通行空間の整備

○災害時、緊急時の安全性の確保・・・緊急避難路等の整備

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

(1) 既存施設の有効活用（有料道路の料金値下げによる利用促進）

通行料金の割高感から十分に利活用されていない有料道路について、料金値下げにより利用性を向上することで、道路の整備効果が実感できると考えます。

本市においては、広島呉自動車道（クリアライン）の料金の値下げにより、広島市との交流促進が図られると考えます。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

(1) 道路整備に対する地方財政の支援

地方財政が厳しさを増す中においても、道路整備を遅れることなく進めるとともに、適正に維持管理してゆくためには、現行制度の改正も含めて、地方の負担軽減、地方財政の支援が必要と考えます。

（例、補助事業の制度拡充、補助率の嵩上げ、国直轄道路事業への地方負担率の軽減など）

(2) 地域との協働・連携

道路事業の円滑な推進やその後の維持管理をきめ細く行うためには、計画段階から管理段階まで、地域と協働・連携を図ることが有効と考えます。

参考資料 1 地理的要件の克服



江田島市まで2つの渡海橋
 加えて、実際の距離感は..

イメージは..
「呉市からの長細い半島」
 距離的には..
「ほぼ愛媛県」



例えば、
広島呉道路は便利だけど、料金が高い

- 広域道路の整備
 (東広島呉自動車道、第2音戸大橋など)
- 有料道路の利用性向上

広島市や広島空港との
「時間距離」が短縮!!

**地理的には
 ほぼ
 愛媛県!**

参考資料 2 地形的要件の克服



(地形的特性)

中央に江田島湾、四方を広島湾

大きな迂回の解消!
航路とのリンクが不可欠!

幹線道路網の構築!
(渡海橋、港湾アクセス道路など)

地域拠点、観光施設、港湾など
拠点機能相互のアクセス性向上

地域間連携、観光周遊性の向上